

積水ハウスとブリヂストン、 日本初となる給水給湯樹脂配管の水平リサイクルを開始

～ サークュラーエコノミー実現に向けた取り組み ～

積水ハウス株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役 社長執行役員 兼 CEO：仲井 嘉浩）と株式会社ブリヂストン（本社：東京都中央区、代表執行役 Global CEO：石橋 秀一）は、積水ハウスの住宅で使用する給水給湯樹脂配管について、新築施工時に排出される端材を同製品部材に水平リサイクル（クローズドループリサイクル）※1する共創を開始しました。

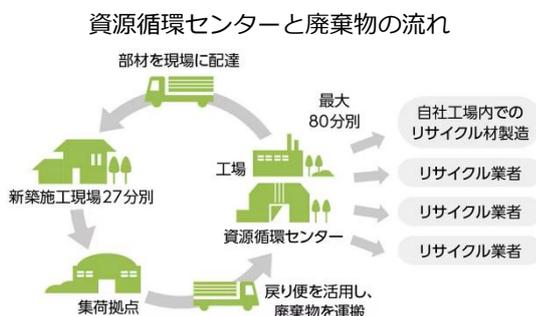
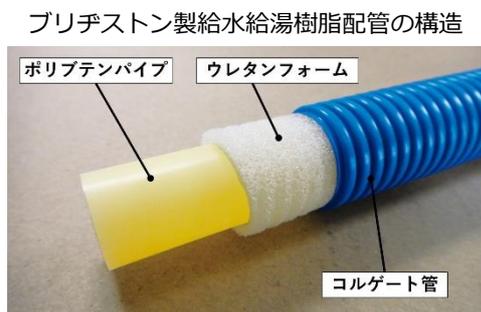
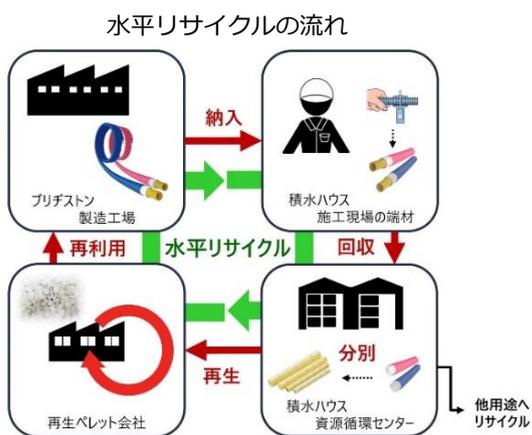
両社は、双方のビジョンに共通する持続可能な社会の実現に向けて、給水給湯樹脂配管のリサイクルについて検討を進めています。

積水ハウスでは、独自の資源循環システムである「積水ハウスゼロエミッションシステム」※2により、新築施工およびアフターメンテナンスと改修時に排出される廃棄物を全国 21 箇所ある自社施設「資源循環センター」に回収して全てリサイクルしており、この中に給水給湯樹脂配管の端材も含まれます。この給水給湯樹脂配管を分解し、部分的にマテリアルリサイクル※3を行っている資源循環センターもありますが、内管はマテリアルリサイクルの難しい素材であることが多く、主に熱エネルギーとして再資源化していました。

一方、ブリヂストンは、給水給湯樹脂配管の内管に、マテリアルリサイクルが可能な熱可塑性樹脂※4であるポリブテンパイプを使用しています。従来、製造工程内での端材等を再度原材料に戻す取り組みを進めていたものの、施工時に出る端材では、そのメリットを生かし切れていませんでした。

今回の共創では、両社の強みを活かして、積水ハウスが回収したブリヂストン製ポリブテンパイプを再生材メーカーでリサイクルペレット化してブリヂストンに還元し、給水給湯樹脂配管の製造に使用します。これにより積水ハウスの新築施工時に排出されるブリヂストン製給水給湯樹脂配管端材の 70%超※5がクローズドループリサイクルされるようになりました。なお、他の用途にリサイクルされる端材を含むと全体でほぼ 100%※5がマテリアルリサイクルされることになります。

両社は引き続きマテリアルリサイクルの取り組みを進め、資源の有効活用やサーキュラーエコノミーへの移行に向けて、共創を加速していきます。



積水ハウスは、“「わが家」を世界一幸せな場所にする”というグローバルビジョンの下、ESG 経営のリーディングカンパニーを目指しています。

住宅の建設には大量の資源投入が必要ですが、積水ハウスは工場での部材生産から解体工事に至る住宅のライフサイクルのうち4部門（部材生産、新築施工現場、アフターメンテナンス、自社物件リフォーム施工現場）のゼロエミッションを、業界で初めて2002年から2007年にかけて達成しています。

今後もゼロエミッションの取り組みを通じて、住宅業界のサーキュラーエコノミーの移行に貢献していきます。

ブリヂストンは、「2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」というビジョンの実現に向けて、商品を「創って売る」「使う」、原材料に「戻す」という当社のバリューチェーン全体で、カーボンニュートラル化、サーキュラーエコノミーの実現、ネイチャーポジティブへの取り組みをビジネスと連動させながら強化していくことで、持続的な価値創造基盤の構築へ挑戦しています。

今後も、企業コミットメント「Bridgestone E8 Commitment」^{※6}を未来からの信任を得ながら経営を進める軸として、従業員、社会、パートナー、お客様など、多くのステークホルダーの皆様と共に価値を創出することで、未来に対する責任を果たし、持続可能な社会を支えることにコミットしていきます。

- ※1 使用済み製品を素材として、同じ製品を新たに作ること。生産者が自らの製品をリサイクルすること。
- ※2 積水ハウスの施工現場で発生する廃棄物を広域認定制度に基づき自社施設「資源循環センター」に回収して分別したのち、100%リサイクルする仕組み。“ゼロエミッション”は産業廃棄物の単純焼却と埋め立て処分ゼロを内容としています。
- ※3 使用済み製品や生産工程から出る端材などを回収して、化学的な処理を用いずに新しい製品の原材料として使うこと。
- ※4 加熱すると軟化して、様々な形に加工でき、冷却すると硬化する合成樹脂。一般的に、加熱と冷却による変化を繰り返すことができることから、成形・リサイクルともに容易な材料。
- ※5 比率は素材重量比。
- ※6 「Bridgestone E8 Commitment（ブリヂストンイーエイトコミットメント）」
ブリヂストンは、「2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」というビジョンの実現に向けて、企業コミットメント「Bridgestone E8 Commitment」を制定しました。これを未来からの信任を得ながら経営を進める軸とし、ブリヂストンらしい「E」で始まる8つの価値（Energy、Ecology、Efficiency、Extension、Economy、Emotion、Ease、Empowerment）を、ブリヂストンらしい目的と手段で、従業員・社会・パートナー・お客様と共に創出し、持続可能な社会を支えることにコミットしていきます。